

# JTAビジョン

令和元年 11 月 14 日 令和元年第 4 回理事会決定

## 1. ビジョン策定の経緯

本会は1975年8月の設立以来40余年間、トンネル・地下空間の施工技術等の調査研究を通じて、鉄道、道路、上下水道、電力通信線等社会資本の整備に大きく貢献してきました。

しかし、近年の建設投資額の減少、各種構造物の老朽化対策の喫緊の課題化、公共工事における技術提案を求める入札契約方式の採用、国における公益法人等との随意契約の適正化の実施等々の本会を取り巻く環境の変化により、その活動は大きな変動期にあります。

また、建設事業を取り巻く状況も大きく変化しており、社会資本の整備、維持管理・更新によって国民の安全・安心を確保し、将来にわたってわが国の持続的な経済成長に寄与していくために、生産性向上と働き方改革が大きな命題となっています。生産性向上については、各分野においてICT、AI、三次元データ等の革新的技術の利活用の取組みが始まっています。

そのような状況の下にこの度、本会のあり方を含めて検討し、本会の今後10年程度の活動の指針となるビジョン(活動の方向性や目標などを提示したもの)を、関係者からのヒヤリングによるご意見を踏まえて策定しました。

## 2. JTAビジョン

本会の今後10年程度の活動の指針となるビジョン(活動の方向性や目標などを提示したもの)は、以下のとおりとし、会員活動、自主研究、人材育成支援、国際活動の4つの柱で活動していきます。

### 会員活動

会員メリットを拡大し、幅広い分野からの会員加入を促進するとともに、会員間コミュニケーションの向上を図り、協会活動の活性化を図ります。

### 自主研究

社会的背景を踏まえつつ会員の意見・ニーズを反映したテーマを選定し、より実務的な成果を志向して自主研究を推進します。

JTAは、トンネル・地下空間分野における産官学からなる唯一の学術団体として、幅広い会員の力を生かし、トンネル・地下空間の建設、維持管理に貢献します。

### 人材育成支援

幅広い会員の知識・経験により、体系的に次世代を担うトンネル・地下空間技術者を育成するための情報や機会を提供します。

### 国際活動

わが国のトンネル・地下空間建設・維持管理技術の国際的プレゼンスを向上するための活動を推進します。

### 3. JTAビジョンの実施方針

上記ビジョンを実現するため、次の実施方針の下に取り組みます。なお、必要に応じて適宜見直しを行います。

活動分野	実施方針
会 員 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い分野からの会員加入を促進するための取り組みを行います。</li> <li>会員のメリットを拡大するための方策を実施します。</li> <li>会員間コミュニケーションの改善を図る取り組みを行います。</li> </ul>
自 主 研 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな社会ニーズに対応した成果志向の自主研究を推進します。</li> <li>委員会組織に多様な会員の参画を得るとともに、会員の多様なニーズに対応して調査研究テーマを選定します。</li> </ul>
人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>トンネル・地下空間分野における人材育成を支援するための教育・訓練等の活動の強化を図ります。</li> <li>会員の自主研修活動の支援強化に取り組んでいきます。</li> <li>新たな社会ニーズを踏まえた分野の講習を積極的に実施します。</li> </ul>
国 際 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>わが国の技術情報の海外への発信・PR機能の強化を図ります。</li> <li>国際トンネル協会(ITA)の活動に積極的に参画し、技術情報の収集・発信、各国関係者との関係強化を図ります。</li> <li>団体会員の海外活動を支援するための取り組みを実施します。</li> </ul>

#### 【参 考】

#### JTAビジョンを実現するための取り組み(例)

活動分野	取組み(例)
会 員 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生会員制度、研究奨励金制度、表彰・顕彰制度等の創設</li> <li>会誌記事、刊行図書等の各種技術情報が会員限定で得られる仕組みの導入</li> <li>会誌のカラー化等魅力を高める方策の実施</li> <li>トンネル技術に関する産官学の意見交換会の実施</li> </ul>
自 主 研 究	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理分野で準拠すべき手引きや要領等の整備</li> <li>先端分野の技術に関する勉強会等の実施</li> <li>既刊行図書の改訂活動の実施</li> <li>研究テーマに応じた、委員会への多様な構成員の参加の促進</li> </ul>
人材育成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会、講習会等を引き続き積極的に実施</li> <li>教育、訓練の体系化を図り、分野別教育プログラムやテキストの作成</li> <li>e-ラーニングの実施方法についての検討</li> <li>維持管理分野の人材育成と結びつけた資格制度のあり方についての検討</li> </ul>
国 際 活 動	<ul style="list-style-type: none"> <li>英文ホームページのリニューアルによる海外への技術情報の発信、英文技術広報誌の刊行を継続</li> <li>ITA活動に積極的に参画するため、国際委員会組織を改組</li> <li>団体会員の海外活動を支援するため、国等との情報交換活動の強化</li> <li>国内外の検討組織に参加して国際的なスタンダード策定情報の収集</li> </ul>